

いつの時代にも親しんでもらえる博物館づくりを

埼玉県立歴史と民俗の博物館長 末木 啓介

この4月1日付けで県立さきたま史跡の博物館長（兼嵐山史跡の博物館長）から歴史と民俗の博物館長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

私は平成4年に学芸員として埼玉県に採用され、その後、主に文化財行政を担う機関や県立博物館施設で勤務してまいりました。

専門は日本考古学ですが、かれこれ30年になる学芸員生活では、今回はじめて歴史と民俗の博物館に勤務することとなりました。これまでは、前任の施設をはじめ、自然の博物館や平和資料館にも勤務しておりました。特に印象に残っているのは平成24年度に東日本大震災被災地復興支援に携わったことで、地域の伝統文化や歴史がそこに暮らす人々にとってとても大切なものであるということが実感できたことは大きな財産になりました。

さて、博物館には資料の収集・保管、展示・教育、調査・研究という基本的な使命がありますが、近年、求められる役割や機能が多様化してきています。それは、博物館に地域の文化観光の拠点の役割を担ってもらおうということや、文化財をまちづくりに活かすための情報発信拠点としての役割を重視するというものです。

ところが新たな役割が求められてきた矢先、コロナウイルス感染症が拡大し、すでに2年以上にわたり博物館の多くの事業において縮小が余儀なくされています。最近になりようやくウイズコロナの時代となり、少しずつ以前の暮らしが戻りつつありますが、不要不急の外出や混雑を避けるという意識が人々の間に定着し、博物館にコロナ前の賑わいが戻ることが難しいのが現状です。

しかも、当館は今年度12月から来年度前半にかけて工事のため休館することとなっており、表立っての活動ができなくなります。ますます県民が博物館から離れてしまうことも想定されます。

ウイズコロナそしてアフターコロナの時代に博物館としての基本的な使命を果たすことはもちろん、新たに期待される役割を担い、多くの人々の学習活動や交流の場であることを維持していくためには、博物館に携わるすべてのマンパワーと資源を活用していく必要があると考えています。

博物館を取巻く環境が厳しさを増すなかでも、職員も一生懸命知恵を絞ってさまざまな事業を行い、これまで以上に多くの方々に親しんでもらえるような取組を進めてまいります。

友の会の皆様にはさまざまな場面で当館の事業を支えていただいておりますが、引き続き当館の事業発展にご協力くださいますよう、よろしくお願申し上げます。



今後のイベントスケジュール

*申し込みは各イベントの募集要項に応じてお願いします。

ホームページ: <https://junosaitama.net/> ブログ: <https://junosaitama.seesaa.net/>

- 6月17日(金) まち歩きクラブ「隅田川テラス歩き その2」 <前号で紹介>
- 7月1日(金) プレミアム講座「中世城館の見方・歩き方」(堀口智彦氏 当館学芸員) <今号で紹介>
- 7月10日(日) 講演会「デーノタメ遺跡(坂田敏行氏 北本市文化財保護課)」 <今号で紹介>
- 7月15日(金) 見学会「デーノタメ遺跡(北本市)」 <今号で紹介>
- 7月24日(日) 「古代文化を考える会(第6回)」 <今号で紹介>

令和4年(2022年)5月22日に埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会の通常総会を開催し、活動報告・収支報告を行い、事業計画・収支予算を審議決定いたしました。午後には講演会「鎌倉時代入門」を開催しました。

*

令和4年(2022年)度埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会通常総会報告

活動報告 令和2年4月～令和4年3月 **コロナ禍に負けず頑張った2年間でした**

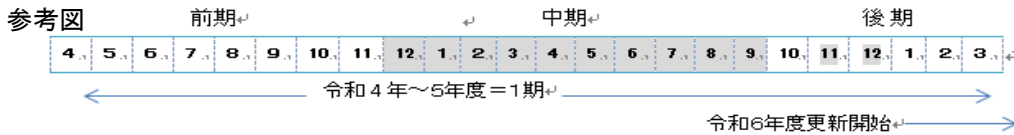
令和2年12月◆令和2年度会員の有効期限を1年間延長しました
令和3年4月◆令和2年～令和3年度を一期として連結決算を組みました
令和3年12月◆令和2～3年度会員の有効期限を更に1年延長しました

◆開催できた催事()は参加数

令和3年11月 プレミアム講座 新収集品展解説(23)新井学芸主幹 見学会 岩槻人形博物館と人形工房(17)
令和4年1月 まち歩きクラブ 川越七福神巡り(10) クラブー古代文化を考える会(49)

プレミアム講座 縄文土器とはなにか(64)村田館長
令和4年3月 講演会 中世武士と馬(63)馬の博物館長塚孝氏 まち歩きクラブ 杉山城と嵐山町史跡巡り(20)

活動計画 令和4年4月～令和6年3月 **10か月休館という活動の核を失う中で頑張る2年間です**



令和4年12月5日より博物館は10ヶ月あまり大規模改修工事の為休館となります。

長期休館中の友の会の主な対応について

- ◆前期に続き令和4年～令和5年を連結1期とし、現会員の有効期限は令和6年3月末日まで延長します
理由 ○休館中の更新手続きが困難なこと ○観覧無料の特典が使えなくなる
- ◆講演会・研究会などは外部施設活用して開催します
- ◆見学会・クラブ活動はコロナ禍との兼ね合いもありますが積極的に実施します
- ◆休館期間中は会報「JUNO」は休刊となります
理由 ○博物館からの情報が無いこと ○経費節減のため
- ◆休館期間中の催事案内はホームページを活用し、ネット環境使えない会員には郵送で届けます
- ◆メール配信サービスも取り入れます。有効活用の為会員のメールアドレス登録を推進します。
※この件の詳細は次号以下の会報に掲載

活動計画は参考図の通り、前期・中期・後期に分け、今総会では前期計画のみ提案しました

講演会	5月22日「鎌倉時代入門」森内優子講師 県文化資源課主幹 実施済	プレミアム講座 7月1日 中世城館 今号募集中
	7月10日「デーノタメ遺跡」坂田敏行講師 北本市文化財保護課 募集中	10～11月 企画
	9月：11月 企画	
見学会	※バス見学会は前期は自粛 現地見学会 7月15日 デーノタメ遺跡出土品見学会 今号募以後随時企画	
学習会	一新規事業 大宮郷土史研究会とコラボレーションした新しい企画です 9月立上げ予定 第1シリーズ 「古文書を通して大宮氷川神社の歴史を紐解こう」 詳細は会報8月号以下で紹介	
クラブ活動	コロナ禍で大規模な会主催事業が困難な中、機動力あるクラブ活動に参加し楽しんでください ○まち歩きクラブ ○古道探索倶楽部 ○古代文化を考える会 ○円空仏研究会 ※祭り研究クラブは活動終了	

◆会報は隔月発行します 4月・6月・8月・10月 ◆受付 コロナ感染リスク避けるため前期は設置しません

令和4～5年度 友の会役員・サポーターに選任されたメンバーです 宜しくお願いします ○印新任 敬称略

会長	○中村 均	副会長	○犬走東道 ○筑井信明 ○西本豊司	顧問	岩井隆興
常任理事	上田彰一郎 齊藤 亨 高瀬敏男 ○寺内慎一 山本洋正	監事	金子 榮 山口清光		
理事	齊藤文孝 加藤陽子 河辺修造 小林都子 滝沢由美子 鶴谷博幸 手塚 充 中野正一 山田貴和				
サポーターとして登録いただいたメンバー 飯野和宏 石隋千恵子 ○今村和晃 ○木村 真 小泉俊江 小林洋子 齊藤紀子 榊原洋子 清水和子 白川郁子 鈴木正子 須永敏雄 船津淳子 松岳俊一 馬渡憲子 ○三田文治 水村陽子 宮本由美子 渡辺由美子					
令和2年～令和3年度収支報告概略			令和4～5年度・前期予算概略		
収入の部		支出の部		収入の部	支出の部
前期繰越	762,624	会議・交通費	90,480	前期繰越	1,000,223
年会費	827,000	用品・印刷費	18,954	年会費	40,000
事業収入	51,150	通信費	341,967	事業費	130,000
雑収入	20	手数料	110	合計	1,170,223
合計	1,640,794	運営費小計	451,511		
仮受金	12,000	講演会	37,970		
		見学会	29,550		
		事業費小計	67,520		
		観覧券購入費	121,500	570枚	
		支出合計	640,571		
		次期繰越高	1,000,223		
				中・後期繰越金	548,223

友の会 初夏のトリプル企画

その1

埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会・共催

講演会

縄文のタイムカプセル!!

デーノタメ遺跡について

文化庁・当館主催「発掘された日本列島2022」の開催に合わせ、近年話題になった埼玉県内の発掘事業から、関東最大級の縄文ムラといわれる北本市の「デーノタメ遺跡」の発掘成果についてお話いただきます。この遺跡の最大の特徴は集落と集落が利用していた水場がセットで遺っていたことです。拓かれた縄文サイタマ^{ヒト}人の生活と文化に触れてみませんか。(その2) 企画で出土品の見学もできます。

講師 坂田敏行氏 (北本市教育委員会文化財保護課主査)

日時 令和4年(2022年)7月10日(日)

13時30分~15時(開場13時)

場所 当館講堂(東武アーバンパークライン大宮公園駅下車徒歩5分)

参加費 300円 友の会会員限定 定員80名

申込方法

- ① 友の会ホームページの「申込フォーム」からご応募ください
- ② 往復はがきに 会員番号・氏名・住所・電話番号・イベント名を明記、返信面に住所・氏名を記入し「〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会」へ。

締切 令和4年(2022年)6月24日(金) 必着

コロナ禍3密防止の為定員に制限があります。応募が定員を超えた場合は抽選により参加者を決め7月1日(金)までに返信葉書かホームページで連絡します。その2・その3申込の方には優先配分致します。当日はコロナ感染防止の入館ルールに従ってご来場ください

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

その2 デーノタメ遺跡出土品見学会

デーノタメ遺跡の水場には漆塗土器が色鮮やかに遺っていました。その他豊かな縄文人の暮らしぶりを伝える多くの遺物が出土しています。普段は保管庫に収まっているこれらの出土品を「友の会会員」のために特別に展示していただけます。講演会だけでなくこの見学会にも参加して縄文時代へタイムトリップしましょう。

日時 令和4年(2022年)7月15日(金) 雨天開催

集合場所 JR高崎線北本駅改札外西口側 ※北本駅に快速は止まりません

集合時間 午前9時30分(時間厳守) 見学10時~11時30分 現地解散

集合場所より会場(北本市文化センター第1・第2会議室)へ担当がご案内します。

参加費 300円(会場費等) 別途希望者に図録頒布します 600円

会員限定ですがご家族・友人は同伴参加できます。

御参加の申込は

① デーノタメ遺跡講演会申込の際にその2・出土品見学会にも参加と併記してお申し込みください。同伴者おられる場合は明記の事。

② 講演会に申し込まれなかった方は

A・別途ホームページ「申込フォーム」から

B・通常はがきに会員番号・氏名・住所・電話番号・イベント名を明記、

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。

返信は致しません 締切 6月30日(木) 必着

その3 緑陰の歴史散策

北本市の西部には鎌倉街道と伝わる古街道が通っています。街道沿いには中世の城館跡や寺院などの史跡が数多く残り、現在は自然公園として豊かな緑に囲まれ、歴史と自然を楽しめるコースとなっています。デーノタメ遺跡出土品見学会参加者の内からご希望の方に、この地をご案内します。

日時 令和4年(2022年)7月15日(金) 雨天中止 参加費 200円(保険・資料代他)

申込方法 トリプル企画その1・その2申込の際にその3歴史散策にも参加と併記して申込

※先着順 20名迄 行程 見学会終了次第、昼食を済ませ路線バスで移動

市役所前バス停-バス-蒲ザクラ入口下車-古道歴史散策(徒歩行程約3K)-北里大学メディカルセンターバス停-バス- JR北本駅(16時頃)

主な見学史跡

東光寺境内 蒲ザクラ(国指定天然記念物) 板石塔婆群 桜の周囲に立てられた22基の板碑拝観

徳川将軍家鷹狩お茶屋御殿跡 戦国時代の要衝・石戸城跡 など

案内は当会常任理事 寺内(石仏協会会員) 山本(大宮郷土史研究会員)が担当します

(この企画についてのお問い合わせは 担当 中村 090-2404-9553まで)

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

「古代文化を考える会」 第5回講演会 4月29日に開催 64名が参加



古代史研究には大変貴重な内容であった。・「倭国」は「卑弥氏」の国で、「前50年～204年」の直後頃まで朝鮮半島南部に在った。・「倭国(大)乱」〔靈帝の光和中(178年～183年) - 『梁書』〕とは半島内で倭国が「韓と濊」の侵攻を受けて「乱れた」ことを指す。・倭奴国は半島南部の「倭国」の一部が「紀元0年」頃博多に上陸して建国した国であろう。・倭国への行程と萬二千餘里の説明・「倭国乱れ、相攻伐暦年、…」という解釈は誤り。「倭国乱。」である。相攻伐暦年は「伊都国王権」との戦いである。・陳寿は邪馬壹国へ至る行程には「行く」という動詞を付けている。それを辿ると「邪馬壹国」は福岡市南区～小郡市、卑弥呼の墓は小郡市の「津古生掛古墳」である。(詳しくはブログで)

第33回日光道中を訪ねてその6 5月14日に開催 古道探索倶楽部 25名が参加

新型コロナの所為で2年半以上のブランクからの古道探索。日光道中杉戸宿から幸手宿までの探索である。杉戸宿の街道沿いには面影を残す重厚な建物が何軒もあり興味を誘った。▽日光御成街道との合流点と戸橋、武蔵国と下野国の境に着く、河川が国境であることを実感する。交差点の角に珍しい庚申塔。篆書で参姑神と彫られている。三尸虫の異体字であるらしい。▽御成街道と新日光街道の合流点から幸手市に。▽江戸時代には大部分が天領となり両街道の宿場町として栄えた。▽予定の時間より早く幸手駅に到着した、途中でリタイアする人も無く、さして暑くもならず快適な天候のなかでの一日の探索であった。やっぱり大勢での街道歩きは楽しいものだなと実感。次回は9月10日(土)日光道中幸手～栗橋を散策します。(詳しくはブログで)



まち歩きクラブの「隅田川歩き(第1回)」を5月20日に開催 25名が参加



東京の下町を南北に流れる隅田川は、江戸時代には物資輸送の主役であるばかりか、川を取り巻く近隣の風景は多くの人を訪れる名所でもありました。▽この隅田川沿いにつくられた遊歩道を歩きながら趣ある橋と文化景観を観察する企画のその第1回目。25名の参加がありました。▽千住大橋を渡り、「千住小橋」をくぐり、一部遠回りしながら汐入大橋へ。川と地形の変遷が産業や街の在り方をも変えた場所の象徴である水神の碑も訪問。名橋として名高い白鬚橋を越え、墨田公園を見ながら桜橋、言問橋を過ぎ、浅草の吾妻橋で昼食休憩。午後、これも中央部に馬のレリーフが残るデザイン豊かな厩橋に到着。次回は6月17日。(詳しくはブログで)

◆新しい視点で学ぶ日本の古代史◆

7月24日(日)「古代文化を考える会」 第6回講演会のご案内

《日時》2022年(令和4年)7月24日(日) 13時00分～16時00分

《場所》当館講堂 東武アーバンパークライン(東武野田線)大宮公園駅下車

《テーマ》「倭国と伊都国、狗奴国の戦い」から「阿智王」の渡来まで

- ・狗奴国の位置 ・倭国と伊都国、狗奴国の戦い ・神武東征(逃亡)・崇神天皇・貴国の樹立
- ・阿智王 について佃説を披露していただきます。

佃説によれば「倭奴国」は57年に金印を賜った直後頃に、半島から渡来してきた「不彌国」に追われ「筑紫野市隈」へ移住する。更に220年～230年頃には半島から渡来した「倭国」に追い出され「朝倉市」へ逃げる。

「狗奴国の男王卑弥弓呼」等から「狗奴国」は「卑弥氏」であり元の「倭奴国」であろうという。

また「貴国」は「364年～410年」頃まで肥前の南部に実在した国である。熊襲征伐をして北部九州に樹立された国である。『日本書紀』『続日本紀』にも「貴国」は出てくるが、「日本の歴史」には登場しない。しかし「好太王碑」にある「倭」はすべて「貴国」のことであるし、「宿禰」は貴国の称号であるなど「日本の歴史」に欠かすことのできない重要な国なのである。楽しみな講演である。

参加者は本『早わかり「日本通史」(概要編)』一講演会で使用—をご持参ください。

《講師》佃 收 先生

《費用》資料代(当日配布)として500円、本代(早わかり「日本通史」)1,000円

《申込》参加を希望される方は、①「友の会ホームページ」を通して、または②「普通ハガキ」(埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会—「古代文化を考える会」—宛て) 会員番号・氏名・住所・電話番号を明記によりお申し込みください。【締切期日: 7月15日】申し込み多数の場合(現定員81名)は抽選とさせていただきます。抽選に漏れた方に対してのみ別途ご連絡させていただきます。《問合せ先》斉藤 048-853-6728

中世城館の見方・歩き方

6月11日から開催の文化庁主催による全国巡回展「発掘された日本列島2022」では、地域展「埼玉の史跡」が併催されます。埼玉県内には、国指定史跡の比企城館跡群（松山、菅谷、杉山、小倉の4城館）や鉢形城跡をはじめ、特色ある中世城館が多く残っています。本講座は写真や図版を手掛かりにこれらの史跡を楽しむ方法を学びます。特に「縄張り図」と呼ばれる城の平面図の描き方や読み取り方に独特の解釈が潜んでいるようです。

講師の堀口さんのご専門は考古学（中世）。さきたま史跡の博物館や県の埋蔵文化財担当の他、福島県に派遣されて震災復興と埋蔵文化財調査に当たられたお話を2019年9月の当講座でも伺いました。今年度は「発掘された日本列島2022」を担当されています。

講師 **堀口 智彦 氏** 当館学芸員

日時 令和4年(2022年)7月1日(金) 13時30分～14時30分
(開場：13時)

場所 当館講堂 東武アーバンパークライン（野田線）大宮公園駅下車徒歩5分

参加費用 無料

申込方法

- ① 友の会ホームページの「申込フォーム」からご応募ください
- ② 往復はがきに 会員番号・氏名・住所・電話番号・イベント名を明記、返信面にも住所・氏名を記入し、「〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会」へ。当日は返信ハガキをお持ちください

締切 令和4年(2022年)6月22日(水)必着

コロナ禍3密防止のため定員に制限があります。応募が定員を超えた場合は抽選により参加者を決め、6月27日(月)までに メール、電話または返信ハガキで連絡します。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会